

# 2026年1-3月期の小売売上高は10.9%増

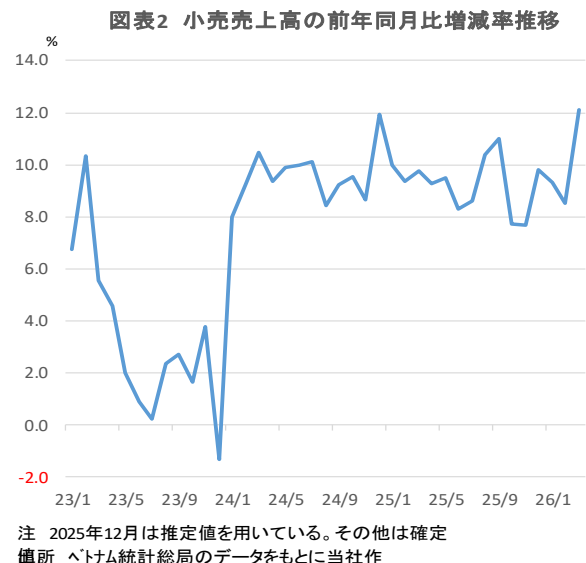
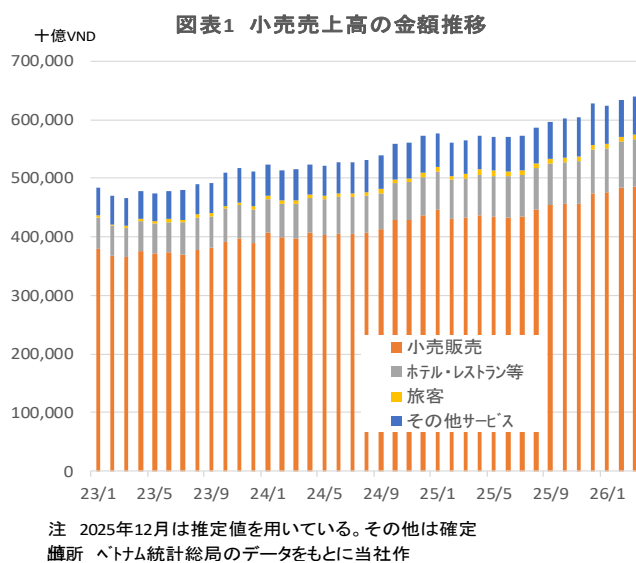


## 《2026年1-3月期の小売売上高は前年同期比10.9%増》

ベトナムの2026年1-3月期の小売売上高（推定値）は前年同期比10.9%増の1,902兆VND（ベトナムドン）だった。12四半期連続で前四半期を上回り、10四半期連続で四半期ベースの過去最高水準を更新している。小売売上高の中核である小売販売は同10.9%増の1,452兆VNDとなった。ハイテク製品を中心に輸出の好調が続き、生産活動も良好な状態が続いている。海外からの直接投資や政府主導のインフラ投資は依然として堅調に推移しており、個人の雇用や所得環境は良好な状態が続いているようだ。その恩恵が個人消費や住宅投資にも及んでおり、さらに緩和的な金融環境もサポート要因になっているとみられる。生産拡大→投資拡大→所得の向上→内需拡大といった好循環が続いている。各種統計をみる限り、この好循環が途切れるリスクは小さいとみられる。物価の上昇を考慮する必要はあるものの、イラン問題が深刻化した3月単月の小売売上高は前年同月比12.1%増と高水準の増加ペースを続けている。

ホテル・レストラン等の売上高は同13.3%増の234兆VNDだった。引き続きベトナムを訪れる外国人旅行者の増加が牽引しているとみられ、10-12月期の同14.0%増と同等の拡大ペースを維持している。旅客・観光業も同12.5%増の22兆VNDと堅調だった。その他サービスは同8.0%増の192兆VNDだった。

好調な小売売上高の死角は物価だろう。1-3月期の消費者物価指数は前年比3.51%上昇と落ち着いている。しかし、毎月みると1月が同2.53%上昇、2月が同3.35%上昇だったのに対し、イラン問題に起因する原油価格の上昇に大きな影響を受けた3月は同4.65%上昇となっている。好調な景気状況を反映して既に物価に対して上昇圧力がかかっていたが、イラン問題を受けて物価の上昇が加速しているようだ。これが金利上昇に繋がれば小売売上高の拡大ペースにも影響がでるだろう。ベトナム中央銀行の今後の金融政策の動向にも注意が必要だ。



### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260415

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。